

美郷がいちばん、好きです美郷

ふたし 議会だより

子どもたちは町の宝もの
わくわく園入園式より

第19号
2009.4.15

3月定例会

役場がチェンジ	定例会概要	2
7つの取組みを柱に 美郷づくり	主な事業	4
美郷ブランド確立を図れ	全体質疑	6
6議員が12項目をたず	一般質問	14
元気の源は子どもたち	キラリ美郷人	20

役場がチエンジ

21年度主要事業をプロジェクトで実施

3月定例会を3月3日から16日までの14日間の会期で開きました。
審議した議案は、平成21年度一般会計予算案など34議案。そのすべてを、原案のとおり同意・可決しました。
また、一般質問は6氏が登壇し町政をただしました。

今

定例会冒頭、町長の施政方針説明があり、平成21年度におこなわれる7つの主な取り組みが示されました（4〜5Pに掲載）。その中の『交流の促進』と『水環境保全への取り組み』では、関係する複数の課の連携プロジェクト事業として、合わせて6つのプロジェクト事業が実施されます。

プ

プロジェクト化の狙いは、最小経費で最大効果を発揮することです。これまで、複数の課でそれぞれに展開してきた事業を集約することで、経費の削減と各事業の相乗効果が期待できます。

議

会では、この6プロジェクト事業が含まれた平成21年度一般・特別会計の当初予算案を、3月9日全体質疑し所管の委員会に分割付託して審査しました。そして議会最終日、3常任委員長の委員会報告の後、原案のとおり可決しました。



▲学習交流プロジェクト

「水源の森」でブナの樹の水の音を聞くつくば市の子どもたち



▲水を楽しもうプロジェクト

観光客が訪れる六郷湧水群



▲友好交流プロジェクト

OTA ふれあいフェスタで演奏する菖蒲太鼓



▲うりこめ美郷応援プロジェクト

大田区蒲田駅前美郷米のPR

▼水を守るうプロジェクト

農地・水・環境保全での「野際清水」の清掃



▶水を学ぼうプロジェクト
御台所清水で学ぶ水環境

7つの取り組みを柱に

一般会計総額

104億4,476万円の

美郷づくり

総合計画の前期最終年度となる平成21年度の当初予算と主な事業を紹介します。

美郷町が誕生して5年目を迎える平成21年度の一般会計当初予算額が、104億4476万3千円（前年比0.8%増）となりました。これに、国の緊急経済対策で平成20年度3月補正予算で前倒しした2億182万6千円を加えると、実質106億4658万9千円（前年比2.8%増）の予算です。編成にあたっては、財政の健全化を基本認識としながら、町民の目線に立った事務事業の厳選など、真に必要な事業に重点配分することを基本としています。

また、平成21年度は美郷町総合計画での前期最終年度となります。町では、平成19年度に実施した「まちづくりアンケート」の結果を踏まえながら、総合計画の前期目標達成に向けて、7つの主な取り組みを柱に美郷づくりをおこないます。以下、平成21年度おこなわれる主な事業内容を掲載します。

交流の促進

▼**うりこめ美郷応援プロジェクト**（農政課・商工観光交流課）大田区内の米屋さん訪問やイベントでの美郷米の試食会などをおこないます。64万3千円

▼**学習交流プロジェクト**（商工観光交流課・農政課・学務課）つくば市の各小学校や御田小などこれまでの児童交流を引き続き実施し、都市と農山

漁村子ども交流事業の受け入れ準備をします。75万8千円

水環境保全への取り組み

▼**友好交流プロジェクト**（商工観光交流課・総務課）OTAフェスタ交流事業などを実施し、5周年記念事業の一環で栃木県那珂川町の太鼓グループを招致します。341万7千円

▼**水を守るプロジェクト**（農政課・住民生活課・建設課・商工観光交流課）七滝「水の森」植樹事業や水辺清掃ボランティア事業などをおこないます。4860万5千円

協働参画の取り組み

▼**協働参画のまちづくり事業** 協働参画の拠点となる施設を開設し、ボランティア活動の情報収集やコーディネート業務をおこないます。321万5千円

芸術文化活動の取り組み

▼**芸術文化活動事業** 映画上映会や自衛隊音楽隊コンサート、絵画展などを実施します。475万3千円

▼**学校交流事業** 中学3年生対象の卒業生体験談会や小学5・6年生への英語学習、科学の講演会などを実施します。253万2千円

合併5周年記念事業の実施

▼**合併5周年記念事業** 11月1日の町の日に記念式典を開催し、表彰や記念講演のほか栃木県那珂川町「まほろば太鼓」と「菖蒲太鼓」の競演などをおこないます。332万7千円

農・商・工連携による産業振興と雇用の維持

▼**中小企業支援事業** 中小企業振興資金の原資預託をおこない、保証料の全額補給などを実施します。1億2465万6千円

▼**緊急雇用創出事業** 仙北地域雇用促進会議に参加し、雇用拡大に向けた企業訪問や合同就職面接会を実施します。188万1千円

公共施設再編、学校再編の住民理解への取り組み

▼**公共施設再編事業** 公共施設再編計画の策定に向けて住民説明会を開催し、意見交換をおこないます。13



千屋小学校と東京都・御田小学校の交流登山

▼**水を学ぶプロジェクト**（住民生活課・農政課・学務課・商工観光交流課・社会教育課）水環境に関する学習機会を提

供し、妖精のすむ水辺写真展などをおこないます。840万1千円

▼**水を楽しむプロジェクト**（住民生活課・社

会教育課・商工観光交流課・建設課）水環境シンポジウムの開催や水辺を歩こう事業などをおこないます。182万9千円



役場機能が集約される千畑庁舎

21年度予算を斬る

美郷ブランド確立を図れ

一般会計予算

歳入

交付税の状況は

議員 国では地方交付税を増やすという情報もあるが、町で5・7%減と

している訳は。企画財政課長 国から3%減の指示があり、それを勘案し昨年度比94・3%にした。

財源一般化による影響は

議員 道路特定財源が一般財源化されるが、町の

予算にどう影響する。企画財政課長 21年度はこれまでと同じ地方道路譲与税での収入を見込んでいる。一般財源化に伴い地方揮発油譲与税となるが、詳細は示されていない。

建設課長

地方道路整備臨時交付金が地域活力基盤創造交付金になるが、詳しい内容の指示はなく予算額は前年度並みだ。

歳出

新規雇用に充当を

議員 緊急雇用創出補助金は、新たな雇用に向け

るべきではないか。

町長 認定こども園への看護師の配置や、放課後児童クラブへの指導員の配置など26名の雇用を考えている。

グリーンツーリズムの内容は

議員 グリーンツーリズム推進協議会補助金の内容は。

農政課長 大田区を始めとする各種交流の推進とその受け皿整備の予算だ。国道の東側が良く見える

議員 田園アートは、昨年の場所は見えにくく国道の東側はどうか。町長 交通安全も考えな

観光宣伝の充実を

議員 観光客の入り込みを図るため、ポスターなど印刷製本費は減額すべきではない。商工観光交流課長 町の観光資源を見つめなおし、その上で口コミ宣伝、案内人の配置などで誘客増を図りたい。

米飯給食の回数増を

議員 学校給食で米飯給食の回数を増やしては。学務課長 弁当方式の北給食センターは週5回だが、食缶方式の南給食センターを4回に増やす。働きざかりにも助成を

議員 はり・きゆう・マッサーJ施設費助成を40

から検討する。

コーディネーターの役割は

議員 男女協働参画でのコーディネーターの役割は。

総務課長 ボランティアの仲介などをお願いする。美郷ブランド確立を図れ

議員 農業振興費が1260万円増額されているが、美郷ブランド確立の増か。

農政課長 美郷米や美郷野菜の、ゆうきで元気応援事業、などブランド確立のための支援策だ。議員 大田区への米販売の「うりこめ美郷応援事

業」の推進状況は。農政課長 JA各支店の担当者との協議を重ね、仙

南宮農センターから31農家41トを販売する計画だ。



OTA フェスタでの特産品販売

代50代にも拡大できないか。

福祉保健課長 大仙市の例は国保での対応と聞いている。国保税との関係もあるが検討していく。イバラトミヨの保全

議員 昨秋のかんばつでイバラトミヨの生息環境が悪化した場所があった。その対応は。町長 イバラトミヨは町の魚であり、課題の項目を見て対応し保全を図っていく。

タイヤロックは何に使う

議員 滞納対策として、タイヤロックの購入費が計上されているが、強制執行するのか。税務課長 タイヤロックの使用はできるだけ避けたい。しかし、納める力がありながら納入にに応じてもらえない方には執行する可能性もある。

水防訓練は

議員 水防訓練と水防資材の備蓄状況は。住民生活課長 町でポンプ操法講習時に水防講習もおこなっており、水防倉庫3カ所に土のう袋などの資材を備蓄している。

除雪体制の見直しは

議員 除雪体制の見直しをすべきだ。また、除雪ドーザの購入予算2569万円は妥当か。建設課長 21年度から見直し、直営・委託の併用となる。実際の入札になれば価格は下がる。

後期高齢者医療特別会計予算

とらえているか。建設課長 現在加入率40%だ。これまで以上に加入促進に努力していく。

主な見直し点は

議員 制度を見直しする項目の主な点は。福祉保健課長 社会保険の被扶養者に対して均等割9割軽減、年金収入80万円以下の人も9割軽減される。年金収入80万円から211万円までの人は5割に軽減される。徴収については、口座振替と特別徴収のどちらでも選択できる。

下水道特別会計予算

加入率がまだ低い議員 下水道の加入率が依然として低い、どう



平成20年度の観光ポスター

指定管理者を再指定

トレーニングセンターろくこう



美郷町六郷陸上競技場



あったか山直売所



ニテコ名水庵



手づくり工房湧子ちゃん



道の駅 雁の里農業振興施設

指定管理者が再指定された施設

3月定例会では、平成21年度当初予算の他に町の施設の指定管理者について審査し、これまでの管理者をすべて再指定することや、消防団の定数条例改正、平成20年度一般会計補正予算などを可決しました。

指定管理者の指定

公募によらない
指定の理由は

議員 指定期間を3年とした根拠と、公募によらないで指定した理由は、**農政課長** 設置目的達成に最も有効な期間を協議して3年とし、指定団体の設立経緯やこれまでの管理状況などを総合的に勘案して、

公募しなくても十分に目的が達成できると判断した。

は **監査委員の指摘内容**

議員 監査委員の報告に、定期報告を管理者にらせているものが多く、報告書に対する指導・監督が十分ではないとの指摘があるが、**代表監査委員** 経理規定が整備されていないなど何点か指摘した。また、所管する課によりチェックリストが別なので、内容の統一化

を指摘した。

議員 指定選考委員会のメンバーに、外部識見者を加える必要があるのではないかと。

町長 監査委員の指摘事項を重く受け止め、今後検討していきたい。

消防団員の定数条例改正

団員削減の根拠は

議員 消防団員の定数を削減する根拠は。

住民生活課長 ポンプ台数や避難誘導での団員数規定があるが、削減した定数でも十分消防活動ができると判断し改正した。

議員 現在、定数にみたない分団もあるのか。あるとすれば、機動力に心配はないか。

住民生活課長 分団の定員数が30名に対して19名の分団もあるが、現在の14分団が相互に不足分を補う形で活動している。また、消防設備も年次計画で整備している。

新年度からは、自主防災組織を立ち上げて、地域住民と連携しながら防災対策を進めて行く計画だ。

議員 自主防災組織と消防団の役割分担は、**住民生活課長** 災害防衛などは消防団の任務となり、避難誘導や要援護者支援、炊き出しなどは地域の自主防災組織で担っていただきたい。

地域活性化基金条例制定

基金の用途は

議員 新年度で使う基金の用途は自由なのか。
総務課長 国の2次補正の3億2000万円のうち、9100万円を基金として積み立て21年度に取り崩し執行するが、建設業の活力再生や農山漁村の活性化など一定の条件がある。

一般会計補正予算

基準日以降の出生者に定額給付金を

議員 基準日の2月1日以降に生まれた方に、自主財源で定額給付金を支給する自治体もあるが。
町長 町では、他の町村で実施していない乳幼児育児支援金を交付しており、定額給付金は国の制度どおりに進めたい。

学友館の入館料改正

値上げの理由は

議員 今回、特別展は値上げできる内容だが、その理由は。
社会教育課長 特別展の中には、数百万円の経費がかかる展示もあり、応分の入館料をいただいで実施したい。

乗合タクシーの町の負担は

議員 乗り合いタクシーの委託金の町の負担分の算出は。
総務課長 1回3千円で委託している。乗車した方の負担は1人400円で2人乗れば800円となり、町が不足分の2200円を補助する。

分別収集計画は

議員 ゴミ集積所設置への補助実績と、今後の分別収集の計画は。



防災訓練

住民生活課長 20年度実績は7基だ。分別収集は、21年度中に各地区の違いを検討し、22年度からの実施を目指したい。

交通安全に 体験型講習会

教育民生常任委員会では、本会議で分割付託された一般会計予算の民生費・衛生費・消防費・教育費と、国民健康保険・老人保健・後期高齢者医療特別会計を審査しました。その結果、出席委員全員の賛成で可決すべきものとなりました。



昨年行われた高齢者交通安全大学

教育民生常任委員会

一般会計予算

交通事故対策をどうするか

議員 昨年5件の交通事故が発生しているが、今後の対策は。
住民生活課長 高齢者の事故が多いので、交通安全を開催し交通安全体験型講習会を実施する。
水環境保全での新規事業は
議員 プロジェクトでこのよう水環境保全への取

り組みで新規事業は。
住民生活課長 七滝の森植樹事業、水辺環境マイスター育成事業、親子水資源環境保全事業、読書感想文コンクール、写真コンクール、清水マップ作成事業、水辺を歩こう事業などで、他の課と一緒に連携し実施する。
不法投棄対策と罰則は
議員 不法投棄の対策と罰則は。
住民生活課長 監視人の巡回を徹底して不法投棄

学力テストの参加目的は

議員 21年度、全国学力テストに参加する目的は、**学務課長** 教育の質の向上に良いと判断し、参加する事にした。

スポ少活動の負担解消を

議員 スポ少活動は、原

増税はないか

議員 当初予算では、医療費の伸びを5・2%みているが、国税の増額はないか。
福祉保険課長 後期高齢者制度への負担分による変化はある。また、繰越金の額の多少で改正もあり得る。

国民健康保険 特別会計予算

則夜7時までのはずが9時頃になり、子どもたちに負担ではないか。
社会教育課長 保護者や指導者は、強いチームづくりを願っているようだが、しかし、県の指導指針は週4日・1回2時間なので守ってもらいたい。

総務常任委員会

観光客誘致に努力を

総務常任委員会では、本会議で分割付託された一般会計予算の歳入全般と、議会費・総務費・商工費・諸支出金・予備費を審査しました。その結果、全会一致で可決すべきものとなりました。



六郷庁舎前の観光案内板

補助金の算出根拠は

議員 商工会補助金の算出根拠は。
商工観光交流課長 商工会の維持管理に要する費用として、地域振興総合事業費の3分の1相当だ。
観光案内板の見直しは
議員 観光案内板の設置場所、内容の見直しは考えているか。
商工観光交流課長 美郷町全体を考慮し、観光客

使用料無料の根拠

議員 山本スキー場リフトの使用料が無料の根拠は。
商工観光交流課長 現在の経済状況、子供の利用者が多く学校教育の一環としてみた場合、また、リフトの管理人をおいた場合などの費用対効果を考慮した結果だ。
第3子以降の町の対応は
議員 県議会で、第3子以降の保育料補助額が増

額されたが町の対応は。
幼児教育課長 当初予算には反映されていないが、今後補正で確保する予定だ。

並木管理は

議員 千屋並木管理委託料の内容は。
総務課長 一丈木地区の松・杉並木が、木も大きく枝も広いため、下を走る車、周辺の住宅に雪の塊などの落下被害が想定されるための枝打ち作業が主なものだ。

地上デジタルの補助金はどの地区か

議員 テレビデジタル化改修補助金はどの地区を指しているのか。
企画財政課長 六郷七滝地区だ。

美郷米販売店数は

議員 大田区での美郷米の販売店数は。
農政課長 現在25店舗で大田区の20%を占めている。将来35店舗を目標にしている。



総務常任委員会の予算審査

産業建設常任委員会

農業を元気に

産業建設常任委員会では、本会議で分割付託された農林水産業費・土木費と、簡易水道事業・下水道事業・農業集落排水事業特別会計を審査しました。その結果、全会一致で可決すべきものとしました。



堆肥センター

堆肥補助は

議員 美郷やさい、ゆうきで元氣”応援事業では、袋詰め堆肥にいくら補助するか。

農政課長 15kgの袋詰価格の1/3、130円を補助する。

野菜販売を

議員 東京都大田区に野菜も販売すべきだ。

農政課長 野菜は、輸送ルートやロットの問題もあり難しい。

小作料改定は

議員 小作料改定の予定はないか。

農政課長

21年度分は昨年8月から農業団体を通じて要望を取りまとめている。

山根線改良は

議員 大畑地区で圃場整備が計画されているが、山根線の改良計画との整合性を図り、地元とよく打ち合えるべきだ。

建設課長

公共施設の再編計画などで道路利用状況

況の変化も予想され、地元と協議して進めたい。

農村整備費は

議員 農村整備費の新規事業は。

農政課長

千畑・中野地区の水路整備113mと、圃場整備では羽貫谷地区だ。大畑地区は実施計画書などの作成が開始される。

農地・水・環境保全

議員 農地・水・環境保全事業は5年間だが、継続してもらいたい。

農政課長

国や土地改良連合会に継続要請をしている。

多目的スペース整備

議員 防災まちづくり事業での多目的スペース整備工事の目的と予定地は。

住民生活課長

災害発生時の避難場所として、米町の信号付近を予定し通常時は駐車場利用を考えている。

防災資材格納庫は

議員 防災資材格納庫建築工事の予定地は。

住民生活課長

六郷東根地区と本館地区の2カ所だ。

松食い虫防除は

議員 松食い虫防除地域はどこか。

農政課長

地上防除として一丈木、仏沢公園の10畝と、薬液の樹幹注入として仙南地区の108本、千屋松並木47本を計画している。

人事

副町長再任

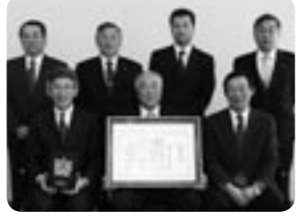
佐々木敬治氏(57才)を副町長に再任しました。



表彰

「みさと議会だより」全国入選

「みさと議会だより」第15号が第23回町村議会広報全国コンクールで入選し2月6日の全国町村議会議長会で表彰されました。



全国町村議会議長会自治功労者表彰

福田 守 議員

秋田県町村議会議長会自治功労者表彰

齊藤 新一郎 議員
澁谷 俊二 議員

請願・陳情

採択しました

◇日米地位協定に関わる「裁判権放棄の日米密約」の公表と廃棄を求める要請について(陳情)
秋田県平和委員会 理事長 風間幸蔵

◇後期高齢者医療保険証の取り上げ禁止と保険料減免に関する陳情書
全日本年金者組合秋田県本部 執行委員長 渡部雅子

◇最低賃金の大幅引き上げと、全国一律最低賃金制度確立を国に求める意見書採択を求める陳情書

秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村秀也
秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章
大曲仙北地域労働組合総連合 議長 柴田俊英

提出議案一覧

Table with 3 columns: 同意第1号, 議案第2号, 議案第3号, etc. listing various council proposals and their status (e.g., ' unanimous approval', ' unanimous approval', etc.).

一般質問 緊急雇用対策など 6議員が12項目をたずねます

- 質問者
- 武藤 威 議員
 - 吉野 久 議員
 - 深沢 義一 議員
 - 深澤 均 議員
 - 中村美智男 議員
 - 熊谷 隆一 議員

緊急雇用創出事業の早期取り組みを

26名の雇用を予定

一時的なつなぎ就労の機会提供として、平成20年度では7名を採用した。平成21年度では、各認定こども園への看護師配置など、26名の雇用を予定している。また、そうした緊急の新規雇用を含め現在213名の臨時職員を募集している。



中村 美智男 議員

議員 世界的な経済危機の影響を受け、雇用情勢の悪化が進んでいる。美郷町でも職を失って困っている方が多数と聞く。また、1月19日のハローワーク大曲の調査では、大仙市・仙北市・美郷町で人員整理を行った企業が16社あり、700人強の失業者がでたという発表もあった。

採用を打ちだしている。美郷町でも、国の緊急雇用創出補助金を活用し、雇用対策窓口などを設置して早期に事業に取り組みべきと思うが町長の考えをうかがう。

町長 町としては、対応可能なことに対しては早急な対応が必要と考えている。そのため、秋田県緊急雇用創出臨時対策基金事業を活用しながら、求職者の臨時的あるいは、

推進には大切な取組みであり、一部支援は継続していく。これまで、街なみ環境整備事業やまちづくり交付金事業など、ハード・ソフト両面の環境整備と振興体制の強化に努めてきた。今後も力を注いで



配置された看護師

議員 定額給付金の支給が始まるが、この事業の概要についてうかがう。

また、美郷町商品券事業振興会がプレミアム商品券の発行を予定しているが、発行総額が増額された場合や継続発行に対する町の助成、地販地消事業との連携、商工業振興に対する所信と姿勢をうかがう。

町長 定額給付金は、町民2万2884人に総額3億5730万円が支給されるが、9月17日が給付申請期限だ。

プレミアム商品券の増額など継続的な取組みに対しては、来年度補正計上を検討する。地販地消

わくわく園
新設計画は

議員 わくわく園は、昭和53年建設で経年劣化が

いくが、基本は自助努力の発揮であり、それに伴う支援だと考えている。

わくわく園 新設計画は

議員 わくわく園は、昭和53年建設で経年劣化が

進む設備の老朽化も著しい。平成18年に行われた耐震診断でIs値0.4と診断されたが、耐震補強工事は実施されていない。園児の遊び場や、駐車場など敷地面積も狭い。現在議論されている、公共施設再編計画や学校教育将来構想案の中にあわくわく園の新設計画を盛り込むべきと考えるが。

町長 耐震診断では、屋根の積雪量を30センチ以下に管理すればIs値0.7以上を満たすとなっている。経年劣化は認められるので、営繕を中心に維持管理に努めている。公共施設や学校教育将来構想のまとまり具合をみて、早期に最善の方向を決定していきたい。

プレミアム商品券で商工業活性化を 一部支援は継続していく



吉野 久 議員



湧太郎前での朝市

(※Is値) 耐震強度を表す数値で、0.7未満の建物は補強が必要と判断される。

農業雇用情報の提供を

ハローワークの活用をPRする

議員 リストラやワークシェアリングで、身近でも「収入が大幅に減った」「アルバイトでも働きたい」などの声を聞く。基幹産業が農業の町として、農業分野での雇用情報提供ができないか。

町長 町では、職業安定法に抵触しない範囲で、現在利用できる機能を活用してもらおうよう広報やホームページでPRしていきたい。

水利確保が重要だ

議員 町では『安心・安全のまちづくり』に向けた取り組みを推進しているが、先日発生した火災では、あらためて水利確保の重要性を認識した。

町長 消防水利は、平常時の消防活動で、消防団ごとに把握に努めていると認識している。しかし、団員の世代交代や圃場整備にもなう水利変更もあり、改めて消防団長に指示したい。また、今後も消防施設整備に努め、来年度は、各行政区を単位にした自主防災組織を設立する。

町長 現在、能代市、横手市、湯沢市のハローワークで農業分野の求人情報を提供している。また、シルバー人材センターでもそうした機能がある。

町長 冬季間の水利確保のために、消防団や関係団体、地域住民も含めた水利の認識と連絡システムが大切と考える。

町のマスコット選定を

議員 美郷町誕生5周年を迎えるにあたり、町のマスコットキャラクター

町長 現在、公聴での「みさとミミーちゃん」や、うりこめ美郷応援事業で選定の考えはないか。

の「みさとマイちゃん」などがあり、町全体を象徴するキャラクター作成は考えていない。



深澤 義一 議員



町消防大会での規律訓練

スクールバスを活用した町独自の地域交通を 現在のシステムを確立したい



深澤 均 議員

議員 現在、町では8台のスクールバスを運行している。それに、交通弱者の方を乗車させることは可能であり、許可制などにする事で民業の理解も得られると考える。期待できる効果は、地域内医療機関での早期受診、温泉へのアクセスを確立した高齢者の健康づくり、集落内の年代を超えた交流などにつながる。

町長 スクールバスは、児童生徒の登校や下校時に合わせた運行であり、路線バスの運行時刻の設定が困難だ。また、相乗りすることで安全確保の面で課題を残す。運輸省交通政策審議会の答申は、公共交通が確保されていない地域が前提だ。美郷町は、既存の公共交通の利活用と連携

による活性化を考えなければいけない。

議員 現在、国・県や交通事業者などで構成する『地域公共交通活性化再生協議会』を組織して取り組んでいる予約制乗合タクシーと、既存の公共交通

担い手組織の育成を

議員 現在、多くの集落営農組織が法人化への発

展過程にあるが、様々な課題もでてきた。町では、その課題をどのように認識し新年度予算にどう反映しているのか。

町長 町では、農地の利用集積、転作への対応、複合作物の導入、水稲の直播栽培、経理事務の取り扱い、組織の合意形成などの課題解決に向けて、産地づくり交付金での集積助成、作物ごとの栽培講習会や個別営農相談の実施、税理士派遣による個別の経営指導などに努めている。

平成21年度では、担い手アクションサポート事業や農業資金への利子助成の継続、みさと野菜販売応援事業も新たに予算化し、県や農協など関係機関と一体になって相談活動の充実に努める。



町のスクールバス

乗合タクシーについて再検討を 改善に努めている



平均運行率が伸びてきている乗合タクシー



武藤 威 議員

議員 町では路線バスの撤退を受けて、町民の足の確保策として「乗合タクシー」の試験運行を実施した。当初、大きな期待をしていたが、利用率からみるとまだまだと考える。

一例として、宮城県亘理町に行った際、町で実施している「ふれあいタクシー」に乗車した。乗務員に尋ねたら、料金は200円で乗り継ぎ無料券や回数券も発行し、生活者の足として定着していると感じてきた。町でも、現状を把握し

改善を検討すべきだ。

町長 乗合タクシーを、より利用しやすくするために、『地域公共交通活性化再生協議会』ではダイヤの増便と拠点施設の追加、予約方法や料金の改定などを見直し、平均運行率が7%から21%に伸びている。

乗降場所は千畑8カ所、六郷6カ所、仙南8カ所で徒歩移動が可能な施設も多く、ご理解いただきたい。町では既存事業者への業務圧迫にならない注意も必要だ。

国保での減免制度を

議員 国民健康保険税の長期滞納者に保険証の返還を求め、資格証明書を交付している。滞納中でも特別の事情が認められれば、短期保険証を交付している。

治療を躊躇して不幸なできごとを防ぐためにも、これまで以上に生活状況を正確に把握する必要がある。低所得者を救済する町独自の減免制度を新設してはどうか。

町長 資格証明書の交付について法令に規定があり、その運用は国の通知に基づいている。

町では滞納額や滞納期間のみを基準とせず、可能な限り面接機会の確保に努めるとともに状況を把握したうえで、きめ細かな取組みによる適切な徴収を図っている。

町に要望する低所得者理由とした一律的な減免制度は、資産などを含めた正確な負担能力を判断しておらず、公平性を欠くことになり難しい。町では生活困窮による減免規定があり、申請に基づき調査の上で判断している。

交流促進に町民の力を 推進協議会を設立する



熊谷 隆一 議員

議員 交流人口の増加を図りながら町の活性化につなげる目的で、交流自治体との各種事業が行われている。21年度も各プロジェクトが計画されているが、事業の成果を高めるためには、町民の力を活かすべきだ。

町長 子ども交流プロジェクトには、JAなどと連携し、推進協議会を設けて受け入れ体制を整備していく。

観光を考えた取り組みであり、ブランド大使を委嘱するなど顔の見える交流に拡大していきたい。

議員 美郷町は20年度の米の単収が、622kgと県内一位だ。また、『お



千屋小学校と茨城県志筑小学校との雪まつり交流

町長 米粉や飼料米などの新規需要米は、実需者との契約が必要であり、町内での取り組みは少ない見込みだ。

『ゆうきで元気応援事業』を推進し、『こだわり米』や『グルメ米』など安全安心な美郷米の生産販売に力を入れていく。



元気の源は子どもたち

「美郷町商工会」青年部長
坂本 浩之さん
(美郷町土崎在住)

核家族化が進む中、近頃では珍しい家族9人の大所帯で暮らす坂本浩之さん宅を訪問し、お話をうかがいました。

坂本さんは、昔からよく言われる『大工と床屋』の家業を親子三代にわたり受け継いでいます。また、昨年の暮れ販売開始の『美郷まんま』を開発した、商工会の青年部長としても活躍しています。

「食を通して美郷町を元気になりたいという思いから『美郷まんま』



に取りかかりましたが、商品化までの道のりは決して楽ではありませんでした」「関係者の協力と部員の努力によって、やつと販売にこぎつけることができました」と、坂本さんはいたって控えめに語ります。

今話題の『定額給付金』の使い道を聞いたところ「3姉妹の長女理穂が、空手選手として県代表になり、青森で7月に開催する東北大会と、静岡で8月に開催する全国大会の旅費にしたい」と、パパ



の顔になって明かしてくれました。坂本さんの元気の源は、3姉妹の成長を家族全員で見守り喜びあっているところにありそうだと感じました。

編集後記

全国町村議会議長会が主催する、第23回町村議会広報全国コンクールで『みさと議会議だより・第15号』が県内で初めて入選を果たしました。

これまでの広報委員が積み重ねてきた、手にとつて読んでもらえる紙面づくりとともに、議会改革など、掲載した議会活動そのものが評価された結果と喜んでいきます。

今定例会、町民のだけれどもが住んでよかつた、住みつづけたいと思えるまちづくりに向けた21年度予算が審議されました。町が目指すまちづくりも、きつと、年度事業の積み重ねがもたらすにちがいありません。

吉野 久

議会議事特別委員会

議長	伊藤 福章
委員長	吉野 久
副委員長	高橋 正治
委員	熊谷 隆一
委員	鈴木 良勝
委員	熊谷 良夫
委員	戸澤 勉

次回定例会は、6月上旬の開会を予定しています。傍聴を、お待ちしております。